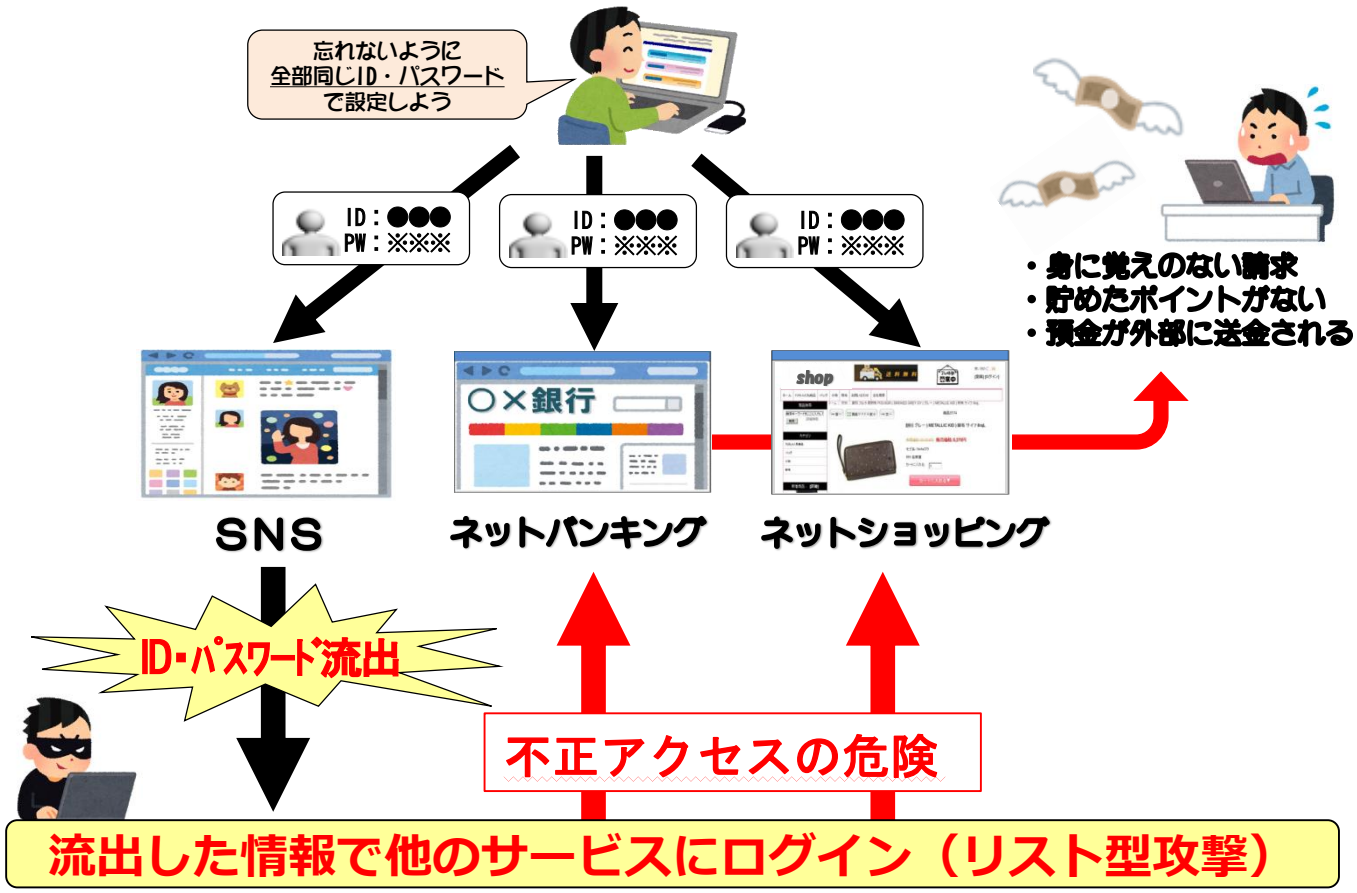
STOP！ パスワード使い回し！

～パスワードの危険な落とし穴～

インターネット上のサービスを利用する際に入力するアカウントＩＤとパスワードを「識別符号」と言います。この識別符号が漏えいし、不正利用される事案が国内外で後を絶ちません。

パスワードの使い回しから不正利用被害が起きるしくみ



識別符号を複数のサービスで使い回していると、ひとつのサービスで起こった情報流出により他のサービスにも不正ログインされたり、サービスを勝手に利用される等悪用される危険性があります。

安全なパスワードは？～不正アクセス被害防止のために～

情報流出が起きていない場合でも「123456」「password」などの簡単なパスワードや生年月日、メールアドレスの一部、単語などの短くて単純なパスワードは、攻撃者に簡単に推測されてしまいます。

安全なパスワードの条件

- ◇ パスワードの文字列は長めにする。（12文字以上を推奨）
- ◇ インターネットサービスで利用できる様々な文字種（大小英字、数字、記号）を組み合わせる。
- ◇ 推測されやすい単語、生年月日、数字、キーボードの配列順などの単純な文字列は避ける。
- ◇ 他のサービスで使用しているパスワードは使用しない。

～ 推測されにくい複雑なパスワードを設定し、
サービスごとに異なるパスワードを使いましょう ～

埼玉県警察本部サイバー対策課